



きくよう



菊陽中学校 225名



武蔵ヶ丘中学校 306名



菊陽中部小学校 131名



菊陽南小学校 23名



菊陽北小学校 67名



武蔵ヶ丘小学校 49名



菊陽西小学校 176名



武蔵ヶ丘北小学校 69名

◎表紙

令和6年度予算	P2～3	委員会報告	P20～21
議会注目予算・臨時会	P4～5	議会の活動状況	P22～23
定例議会	P6～7	Tea Time	P24
一般質問	P8～19		

3月定例会、常任委員会

- ・執行部から提出される予算案を審議する

議会だよりの原稿作り

情報収集

- ・新年度予算に対する町民の声を集める

各委員会 ※必要に応じて開催しています。

議会運営委員会

総務住民生活常任委員会

文教厚生常任委員会

経済産業建設常任委員会

広報調査特別委員会

交通混雑緩和・解消に関する特別委員会

広聴特別委員会

議会運営委員会

杉並フェスタ実行委員会

〔議員研修〕

- ・自治体に影響のある制度改正のポイントセミナー
- ・菊陽町議会議員研修

6月定例会、常任委員会

常任委員会現地視察

執行部との政策協議

〔議員研修〕

- ・これだけはやってはいけない議員活動の注意点オンラインセミナー

令和5年度の議会

町民の声を届けるために
私たち町議会議員は1年を通して活動しています！

2月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

9月定例会、常任委員会

〔議員研修〕

- ・議会台湾TSMC研修

こども議会

〔議員研修〕

- ・菊池地域市町議会議員研修
- ・令和5年度議会広報クリニック



こども議会

スポーツと文化への投資

地元のプロスポーツチームと連携したイベントや支援を行うことで、町の活性化を図るとともに、町民の生きがいづくり等を促進する予算743万8千円



生活・喜びへの投資

令和6年度から、おたふくかぜの予防接種にかかる費用の一部を助成するための予算210万円



潜在能力への投資

農商工業者への支援として、町の農畜産物や地域資源を活用した特産品の開発支援や町内事業者の製品の販売会を行う予算250万円



未来への投資

子育て世帯の負担の軽減を図るため、学校給食費や保育所・幼稚園の副食費に対して、月額1,000円から2,000円へ額増して補助を行う予算1億2,098万8千円

物価高騰に伴う給食費の値上げを抑えるため、学校給食費の物価高騰分を補助する予算2,726万1千円



町民サービス向上への投資

町民が各種手続きをする際の申請書などの記入の負担を減らす、書かない窓口の予算198万7千円



地域への投資

町の更なる発展に向けた、新たな市街地の整備、新たな道路等整備の予算3億8,987万5千円



令和6年度 町長の政策提言にスポット!

安全への投資

要介護認定がない認知症が疑われる高齢者に対して、位置情報サービスを導入するための費用を助成する予算79万2千円



教育への投資

グローバル化が進む菊陽町において、小中学校の英語教育を充実させる予算1,603万5千円

不登校の児童・生徒に対する支援の強化並びに児童・生徒の悩み等を相談できる体制強化を図る予算2,226万1千円



意見交換会

3月定例会の議案書をもとに、新年度予算について精査を行う・菊陽町区長会との意見交換会

〔議員研修〕

- ・ 熊本県町村議会議員研修会
- ・ 4 か町村議会議員研修
- ・ 総務住民生活常任委員会御製視察研修

12月定例会、常任委員会 常任委員会現地視察

〔議員研修〕

- ・ 町村議会広報研修会
- ・ 文教厚生常任委員会台湾研修

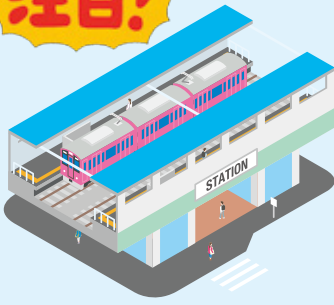
菊陽町区長会との意見交換会



台湾研修

4

議会の注目



町は、半導体企業の立地等を踏まえ、今後の経済発展や人口増加に対応するため、JR豊肥本線三里木わいの拠点として、菊陽杉並木公園の拡張工事を計画しています。また、新駅～原水駅間において「仮地整備を進めていく計画もあります。令和6年度当初予算では「新駅整備」に関する予算が承認され、まに関する予算は、国の交付金が活用可能となったことに伴い、昨年度の補正予算にて承認され、それぞれ交通渋滞に対して、国・県と連携して道路整備を進め、菊陽空港線延伸や南方大人足線交差点改良を進め

JR新駅整備事業

1 概要

「駅を中心とした市街地整備」などの今後の新たなまちづくりの第一歩となる新駅を設置するもの。なお、昨年12月にJR九州と覚書を締結済み。

2 全体スケジュール

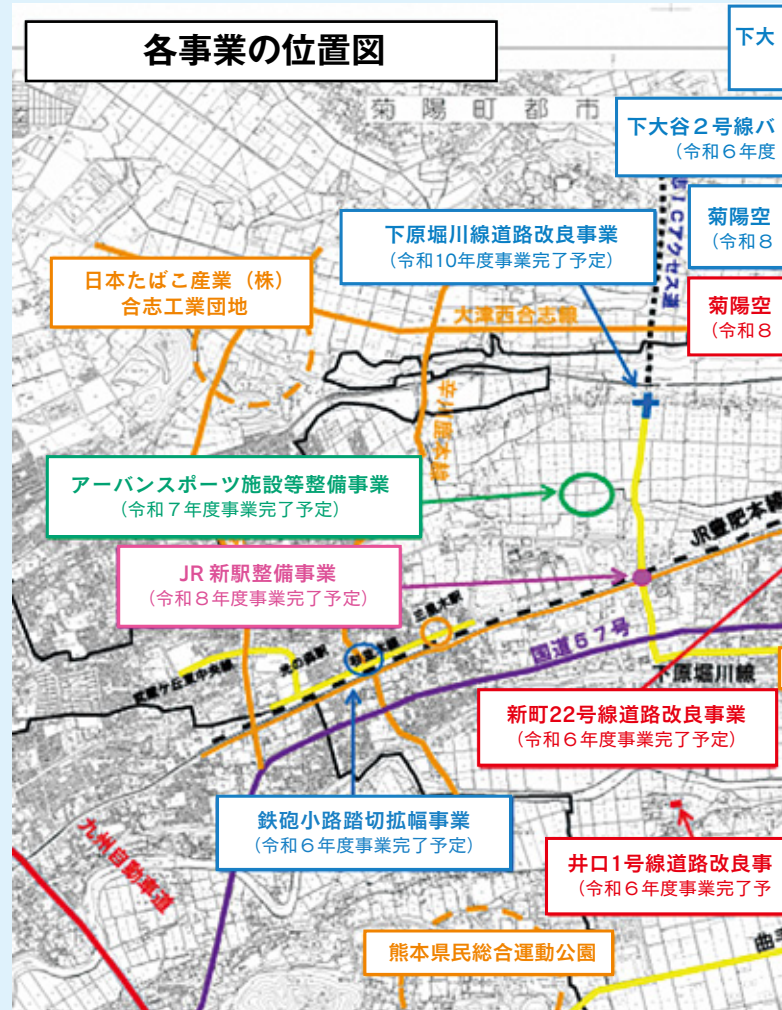
本年度から基本計画及び設計を経て、令和8年度末に工事完了予定。

3 事業費

全体事業費は約16億円（見込額）であり、うち本年度予算約7,200万円の内訳は基本計画委託料約1,000万円、JR九州への設定負担金約6,100万円等。



各事業の位置図



(延伸後の菊陽空港線イメージ)



(南方大人足線の改良後の交差点イメージ)

道路等整備事業 (本年度事業開始分 (赤枠) のみ記載 ※青枠は前年度に事業開始)

○ 菊陽空港線延伸道路事業	1億7,300万円	内訳	工事請負費	1億7,300万円
○ 南方大人足線交差点改良事業	9,000万円	内訳	工事請負費	9,000万円
○ 大原踏切拡幅事業	2,000万円	内訳	JRへの設計委託	2,000万円
○ 新町22号線道路改良事業	5,000万円	内訳	工事請負費	5,000万円
○ 中岡線道路改良事業	950万円	内訳	測量設計委託料	950万円
○ 中尾線歩道拡幅事業	900万円	内訳	工事請負費	500万円 等
○ 井口1号線道路改良事業	900万円	内訳	工事請負費	900万円

令和6年第1回菊陽町議会定例会 2月28日～3月15日

付議事件

- ◇発議第1号 菊陽町議会会議規則の一部を改正する規則の制定
- ◇議案第3号 菊陽町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第4号 菊陽町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第5号 菊陽町監査委員条例及び昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第6号 菊陽町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第7号 菊陽町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第8号 菊陽町手数料条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第9号 菊陽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第10号 菊陽町介護保険条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第11号 菊陽町指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第12号 菊陽町町民体育館条例等の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第13号 令和5年度菊陽町一般会計補正予算（第8号）
- ◇議案第14号 令和5年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ◇議案第15号 令和5年度菊陽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ◇議案第16号 令和5年度菊陽町介護保険特別会計補正予算（第3号）
- ◇議案第17号 令和5年度菊陽町下水道事業会計補正予算（第3号）
- ◇議案第18号 令和6年度菊陽町一般会計予算
- ◇議案第19号 令和6年度菊陽町土地取得特別会計予算
- ◇議案第20号 令和6年度菊陽町国民健康保険特別会計予算
- ◇議案第21号 令和6年度菊陽町後期高齢者医療特別会計予算
- ◇議案第22号 令和6年度菊陽町介護保険特別会計予算
- ◇議案第23号 令和6年度菊陽町下水道事業会計予算
- ◇議案第24号 工事請負契約の締結（菊陽空港線道路築造工事（その2））
- ◇議案第25号 財産の取得
- ◇議案第26号 町道路線の廃止
- ◇議案第27号 町道路線の認定
- ◇議案第28号 都市公園を設置すべき区域
- ◇議案第29号 熊本広域行政不服審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び熊本広域行政不服審査会共同設置規約の変更
- ◇同意第1号～9号 菊陽町農業委員会の委員の任命
- ◇発議第2号 若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策の強化を求める意見書(案)
- ◇発議第3号 パレスチナ・イスラエルにおける平和の実現を求める決議

付議事件（追加）

- ◇報告第5号 専決処分の報告（工事請負変更契約の締結（武蔵ヶ丘北小学校放課後児童クラブ新築工事））
- ◇報告第6号 専決処分の報告（工事請負変更契約の締結（武蔵下戸橋橋梁補修2期工事））
- ◇議案第30号 工事請負変更契約の締結（菊陽空港線堀川函渠構造物基礎工事）

議案第13号
令和5年度菊陽町一般会計補正予算(第8号)

Q 放課後児童健全育成事業で、委託料の減額400万円の理由は。

A 国、県の交付金があるが、想定していた保育料が多く徴収できたため。

Q 指定ごみの作成費用が減額になった理由は。

A 入札と在庫調整した減額によるもの。

Q デジタル教科書で478万円とあるが、どういうものを導入したのか。

A 令和6年度から教科書の改訂をしており、指導者用のデジタルのコンテンツを購入した。

Q 障害福祉サービス費実績見込みで4,260万円増額の内容は。

A 利用者数の増。

Q 予防接種委託料5,800万円減額の内容は。

A 当初の予定から約2万円件程、実績が下がったことによるもの。

Q 九州最大規模となるアーバンスポーツ施設を整備するということがあ

るが、町民が楽しめる施設になるのか。

県外、町外から利用者がくる。道路整備等も終わっていない中で、この計画を進めるのは如何なものか。

A 町民が楽しめる施設にしていける必要がある。渋滞する話もあるが、今後5年間で計画の道路をしつかり整備していく。新駅もできるので公共交通機関の利用促進も必要である。

国の予算が付いたということは、菊陽町にアーバンスポーツ施設が認められたということであり、菊陽町にしかできない事業である。

《反対討論》

スポーツ施設整備については、全議員資料を持っていない。議員は何を根拠に賛成、反対をするのか問われる内容である。

TSMC進出に伴い、交通渋滞は一層深刻化している。今、町が最優先に取り組むことは、渋滞対策である。また農地を

開発することによる農地の減少についても問題である。

《賛成討論》

TSMC進出に伴う変化を受けた町づくりの環境である。工業用地の需要が高まる中、守るべき農地は守り、工業・農業振興とのバランスのとれた町づくりが必要。私たちが、今の歴史的舞台で、農地と工業用地のバランスについては腹をくくって取り組む時期である。

社会が国際化する中で、国際基準のアーバンスポーツ施設も町づくりの延長線上にあり、新駅、周辺地域の区画整理なども計画され、異次元の賑わいが予想される。町はこの機会を逃してはならない。

特に国からの補助金もすでに決定している。

■議員の賛否を公開します

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数		鬼塚	吉村	藤本	馬場	廣瀬	矢野	大久保	西本	佐々木	中岡	布田	佐藤	甲斐	岩下	上田	小林	坂本
		賛成	反対																	
議案第10号	可決	16-1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第13号	可決	10-5		○	○	棄	棄	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	●	●	○
議案第18号	可決	16-1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第20号	可決	16-1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第21号	可決	16-1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第22号	可決	16-1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第28号	可決	16-1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※賛否の分かれた議案のみを掲載しています。(それ以外は原案のとおり可決)

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定・継続審査 ※報告は採決がないため削除

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

町の考えを問う 一般質問



にし もと とも はる
西本 友春 災害を含めたドローン配備を提案

…P 9

ふ た さとる
布田 悟 台湾有事を念頭に、避難住民の受入の検討を

…P16

さか もと ひで のり
坂本 秀則 主食用米作付水田全て地下水涵養補助対象圏場に

…P10

いわした かず たか
岩下 和高 オーガニック給食を提案

…P17

や の あつ こ
矢野 厚子 今後、児童の増加が考えられる北小学校について

…P11

うえ た しげ まさ
上田 茂政 企業立地に伴う新年度予算はどうなるのか

…P18

か い えい じ
甲斐 榮治 スポーツ関連施設等の企画・建設は広い視野で

…P12

おにつか よう
鬼塚 洋 アーバンスポーツ施設を整備する背景は

…P19

ふじ もと あき ふみ
藤本 昭文 税金の使途として、防犯カメラ補助事業は適正か

…P13

ば ば こう せい
馬場 功世 PR大使の選定にあたって、選考基準はあるか

…P14

こばやし こ
小林くみ子 TSMC第1、第2工場の地下水の取水量は

…P15

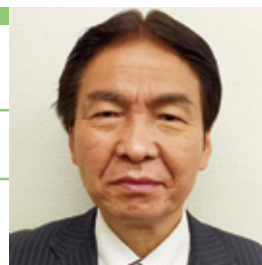
一般質問は会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で校正し、掲載しています。

Q 災害を含めたドローン配備を提案

A ドローン取扱い事業所と協定を交わし、必要に応じ撮影依頼を検討



にしもと とも はる
西本 友春 議員



Q ひとたび自然災害が起こると、道路が寸断されるなどの甚大な損害を被り、人命救助も一刻を争う事態となる。近年、そうした災害時に活用が進んでいるのがドローンで、ドローンを使えば人が入れないような道なき場所の被災状況を確認したり、迅速に救援物資を届けるといったことが可能となる。ドローンの配備を提案するが町はどのように考えているのか。

A 災害時のドローン活動は、上空から被害の状況を正確に把握することができるため、迅速で効果的な支援活動を行うことができるかと思っている。ドローンについては、町で購入し配備するのではなく、ドローンを取

り扱う事業所と協定を交わし、必要に応じて撮影を依頼した方が、効率的ではないかと考えており、その方向で検討していく。

避難所にインスタントハウスの配備を

Q 避難所は一人ひとりのスペースが限られているため、完全なプライベート空間を確保することは厳しい状況があり、課題を解消するためにインスタントハウスを確保すること提案するが町はどのように考えているのか。

A 段ボール製のインスタントハウスは、簡単に設置でき、個室として利用ができるため、発熱者などの避難スペース、乳幼児の授乳室、更衣室などとしても活用ができる。

避難所の開設期間が長期になる場合は、災害協定を締結している企業に、避難所で使用する資材の提供を依頼する予定であり、インスタントハウスの情報も企業と共有していきたいと考えている。

Q 災害協定をしている企業に資材提供を依頼する予定とのことだが、1棟1万円前後の低価格となっており、折りたたみな

ので保管場所も少なくて済むため、避難所に1棟を確保することをどのように考えているか。

A 開設の訓練等も予定しており、その際はダンボールのパーティションや簡易のテント設置訓練も実施するのでインスタントハウスについても複数台を組み立て訓練用で導入できないか検討していく。

サスマタと連動している拘束用具の配備を

Q 通報から救援が到着するまでの5〜10分間、サスマタのみで不審者に対処するのは実質不可能と考えられる。帯状のヘッドが不審者に巻きつき、身体を拘束し、女性でも操作可能なサスマタと連動している拘束用具の導入をどのように考えているのか。



名古屋工業大が研究開発した段ボール製の屋内用インスタントハウス



佐野機工の【ケルベロス】

その他の質問

- ・スマートシティーの形成
- ・久保田大地の発展
- ・新たな中学校建設と校区編成
- ・災害ボランティア送迎用のバス確保
- ・HPVワクチンの男性接種への助成

A 不審者を拘束することのできるサスマタと連動している拘束用具は、不審者対応において有効な機材であると考えている。今後、警察と連携し訓練などの協議を進める中で、職員が不審者対応を安全かつ効率的に行うため機材導入についても検討する。

Q 主食用米作付水田全て地下水涵養補助対象圃場に

A 全圃場が対象となるような方策を、今後検討して取り組んでいく



さかもと ひでのり
坂本 秀則 議員



Q 対象者等及び対象圃場の考えを問う。

A 対象圃場は、大津町を含む白川中流域の灌漑設備を有する水田として、当該水田で栽培される主食用米生産者を対象者とし、地下水からの揚水を必要とする圃場は対象外となる。

Q 事業実施時期及び補助金額の考えを問う。

A 事業実施時期は、企業へのウォーターオフセットの取組みが令和5年産米の購入分から実施する計画で、水稻栽培の維持及び新規作付けの推進は、令和7年産米から実施する計画としている。

Q 令和6年産米から事業を実施するべきではないか。

A 正確に事業を実施するには、令和6年産米からは、事務的に無理で、令和7年産米から実施する予定だ。

菊陽町マスタープランの大幅見直しについて

Q 現時点での進捗状況を問う。

A 町の取り巻く情勢の変化を計画に反映するため、令和6年

度中の改定を目指し、町民アンケートを進めている。

Q 町の均衡ある発展のためにも、白水・久保田・原水の農地基盤整備地以外の農地及び山林等の土地有効利用を、積極的に行うべきではないか。

A 都市計画マスタープランの見直しの中で、積極的に活用すべき土地と優良農地等守るべき土地のバランスについて検討を進める。

どうすれば町内の限られた土地を有効活用できるか、エリアの発展につながるかという議論は、大変重要だと認識している。

Q 今後のタイムスケジュールを問う。

A 令和6年度には、学識経験者などで構成する策定委員会を3回程度実施し、見直し案を策定した上で、年度末までは、町の都市計画審議会に諮問して決定する。

北小学校及び菊陽中学校の今後について

Q 今後予想される急激な児童・生徒数増加に対して受け入れ体制（教室・体育館・運動場・駐車場等）の構想について問う。

A 北小学校は、令和5年度、策定した基本構想において、複数の配置計画案として検討している。

令和6年度配置計画案の精査を行った上で、増築の方向性を決定し、令和7年産に設計・令和8年度に工事着手したいと考えている。

菊陽中学校は、令和11年度には、教室不足が見込まれるので、令和6年度校舎増築の基本設計に着手する。

障がい者にやさしいまちづくりについて

Q 障がいのある小・中学校児童生徒に各障がいに適応するタブレット端末かパソコン等を配布するべきではないか。

A 今度も、児童・生徒の各障がいに応じて、児童・生徒が困ることがないように、必要なソフトや機器を整備するなど、個別に状況を把握し、柔軟に対応していく。

美しいまちづくりについて

Q 町が除草作業する法面としない法面の差はなにか。

A 基本的に町の所有であれば管理する必要がある。

現状は、町で管理すべき町道沿いの全ての法面に対応はできていない。

道路パトロールや町民等からの連絡により、その都度対応している。

Q 町が所有するすべての法面に除草が不可欠だが、何らかの対策は考えているのか。

A 令和4年度から張りコンクリートでの防草対策工事を始めた、この対策を推進して町道の適切な維持管理に繋げる。

Q 該当する地区に除草作業を委託はできないか。

A 地区へ除草作業を委託することは、今のところ考えていない。

今後、各地区の取組み状況や他の自治体の事例を調査し地区の皆様と協議していく。

Q 今後、児童の増加が考えられる北小学校について

A 配置計画案の精査を行った上で、基本構想の練り直しを行ないたい



の あつこ
矢野 厚子 議員



Q 今後人口急増が考えられる菊陽北小学校は①現在地に増築するのか②新規に開校するのか③校区割の変更をするのか。

A 6年度は配置計画案の精査を行った上で、基本構想の練り直しを行いたいと考える。

また、「新駅整備」や「(仮称)原水駅周辺土地区画整理事業」の進捗状況、その他の民間開発などの動向もふまえ、その状況に応じて、既存学校での増築と、新築について比較検討を行う必要がある。



北部町民センターの建設計画は

Q 北部地区に研修センターはあるが、町民センターはない。人口の増加やJAS Mに一番近い地域として、交流の場所や災

害時の受け入れ場所としての役割が求められているが、北部町民センターの建設計画はどうなっているか。

A 6年度以降の公共施設の整備など、投資的経費の方向性を検討している。優先すべき施策もあり、新たに策定する第7期総合計画策定の中で、北部町民センターの在り方など引き続き検討する。

みどり園についての役割はどう考えているか

Q 平成29年の保育園の民営化の時に残った2園は民間の保育園の良きモデルとなると聞いたが、どのような役割をしているか。

A 役割と機能は①多様な保育ニーズへの対応として、子供自身が活動を選んで遊ぶ時間を保



障する。②学校の人権教育と連携した人権保育に積極的に取り組む。今後は町の子育て支援の拠点として環境を整備する。

Q みどり園の周辺の開発が進み、道路事情が悪化しているが、通園の安全を確保するための道路改修は考えているか。

A 令和6年度にみどり園西側の大原踏切拡張事業に着手する予定。菊陽空港線の供用開始にあわせて、令和8年度には事業完了を予定している。



原水駅周辺の規制緩和は

原水駅の乗降客数と周辺の住宅が増加しているが、日用品や食料品が購入できる店舗がない。規制緩和についてはどう考えているか。

A 現在町は(仮称原水駅周辺の区画整理事業)に取り組んでいる。これが実現すれば、将来は市街化区域に編入される。その進捗状況は、令和6年度以降に原水駅及び新駅を含む事業予定区域の土地利用に本格的に取り組む予定である。その中には、駅の周辺の高度利用など、店舗の立地に関わる内容も含まれる。今後も事業を推進し、制度を最大に活用し、課題の解消に取り組む。

新駅周辺の整備について

Q さんさん公園に予定されている新駅は「令和9年春の開業を目指し準備をする」とされているが、周辺の整備(店舗や駐車場)についてはどのように考えているか。

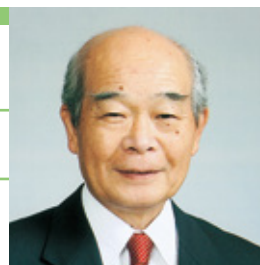
A 駅舎や駅前広場の基本計画を策定していく中で、駅に関連した店舗や駐車場、駐輪場の必要性、周辺道路や周辺樹木の取り扱いや近隣住民や関係者への影響など、しっかりと検討し、関係機関や関係者と協議・調整を図っていく。基本計画策定案については、令和6年度当初予算に計上している。

Q スポーツ関連施設等の企画・建設は広い視野で

A 地理的条件や地域への効果を考え国際規格などの基準も検討する



かい えい し
甲斐 榮治 議員



公営施設利用の平等互恵を

Q 町営施設の使用料や予約の取り方に町内者町外者で差があるのはなぜか。菊陽町の地理的位置や役割からして、それは撤廃すべきだ。

A 税負担の観点から、町内使用者を優先している。

Q 近隣市町村に働きかけて施設利用の互恵関係を作るべきではないか。

A 公共施設の相互利用についての協議は進んでいない。

「熊本連携中枢都市圏」に加盟する近隣市町村の意見を踏まえ、町民が不利益を被らないように慎重に判断する。

施設建設に広範な視点を

Q スポーツ関連施設の仕様は、町を取り巻く地域事情を考慮するとともに、国際基準にも適応すべきではないか。

A 施設の規模については、単に「する」スポーツか、或るいは「みる」スポーツとして国際大会等を開催し、多くの人々を呼び込む施設として活用するのかが決まる。

町が新たな施設を整備する場合

合は、地理的条件を勘案し既存のスポーツ施設との連携はもとより、地域への効果を考え、基準も検討したい。

県規模の武道場を町内に

Q 伝統的武道である柔道・剣道（剣道・居合道・杖道）弓道・空手道などの道場を集約した武道場を建設すべきではないか。

A 本町においては、現在武道場建設の計画はない。両中学校の柔道場・剣道場を一般に開放している。総合体育館のメインアリーナ・サブアリーナも剣道・空手などの稽古で使用され居合道の九州大会や中体連の県道競技も予定されている。



弓道 伝統の美と心

Q グラウンドゴルフ等、高齢者用の運動施設も建設すべきではないか。

A 72の政策提言に掲げているが、まだ具体的な構想はない。菊陽杉並木公園スポーツ広場等既設の施設を利用いただきたい専用のグラウンドゴルフ場の設置については、先進市町の実況を調査し、検討したい。



ナイス ショット！

第2工場の情報把握は

Q JASMの第2工場について、町が現在把握している情報（場所・規模・従業員数・製品・使用水等）を示せ。

A 建設場所は熊本県内。町長は町内誘致を働きかけている。従業員数は1700人、製品は22ノ、28ノ、12ノ、16ノに加え、40ノ、6ノ、7ノと発表されている。規模や使用水についての言及はない。投資額は、これまでの86億米ドルから、124億米ドルが増額され、合計

300億米ドルとなり、1ドル148円で換算すると合計約2兆9600億円となる。以上である。

交通対策と水処理は万全か

Q 交通混雑や水の質量維持対策はどうなっているか。

A 県道大津植木線の多車線化、合志インターチェンジアクセス道をはじめとする各種道路事業は進捗している。

第1工場の水処理施設は町長・議長が視察し、万全を確認した。工業用水については地下水に併せて、龍門ダムからの供給水の活用が進められている。排水対策については、合志市の連携協力によって、特定公共下水道事業による対応がなされつつある。

第七期総合計画の進捗は

Q 第七期総合計画の進捗状況はどうか。

A 従来の総合計画に加え、「デジタル田園都市構想総合戦略」を一体的に作成する。策定委員会を組織し終えた。

Q 税金の使途として、防犯カメラ補助事業は適正か

A 防犯協会への助成について、その妥当性を検証していきたい



ふじもと あき ふみ
藤本 昭文 議員



Q 防犯カメラ設置について、大津地区防犯協会に対して10件分の助成を行っているが、その応募状況と助成実績について、行政区と民間事業所の割合はどうか。

A 令和4年度は自治会から3件、事業所から17件で、そのうち自治会に対して1件、事業所に対して9件の補助を行っている。また、令和5年度は自治会から9件、事業所から29件。保育所幼稚園から4件で、そのうち事業所に対して9件、幼稚園に対して1件の補助を行っている。

の安心感の醸成と他公共の安全と秩序の維持が目的となっており。つまり犯罪抑止と事件の早期解決により町民を守るためのものであり、行政区からの要望を優先するのではなく、より効果の高い箇所を補助対象として優先してこそ、町民の安全安心に寄与すると考えている。

Q 行政区・自治会からの申請では、先ず役員会等で防犯カメラの必要性、設置場所などの検討を行ない。更には設置予定場所周辺の住民に対しての説明や総会などによる議決といった、いくつもの手順を踏んで事業に応募されている。町の答弁では、防犯効果の低い個所からの申請は、そもそも補助の対象外とも聞こえるが、であるならば募集要件にそのことを含め、防犯効果の高い箇所を記したマップを示すなり、募集路線を具体的に示すなどの配慮が必要と考えるが、町の考えはどうか。

A この補助事業の目的、手続きや決定の流れをしっかりと行政区・自治会に伝えていきたい。

Q 過去3年分の申請ごとの補助額と防犯カメラの設置台数はどうか。

A 令和3年度から5年度の3年間で、設置台数と補助額の内訳は、2台設置が24件で46万4千円から50万円、3台設置が3件で49万9,400円から49万9,950円、5台設置が1件で49万5千円となっている。

Q 直近3年間の実績では、2台設置で最大50万円、5台設置で49万5千円とのことであるが、さすがに設置台数と補助額の整合性が取れていないと思うが、町の考えはどうか。

A 補助の対象経費として防犯カメラ本体、液晶モニター、映像記録装置、設置工事費などが含まれており、撮影された映像は捜査資料としても使用されることから、性能の高いカメラや映像記録装置の設置を求めている。このため、補助の上限額としての一軒当たり50万は妥当であると考えている。

※カメラの性能がどうあれ、5台設置より2台設置の費用が高

額になるのは、やはり理解がでない。

この問題については、今後も引き続き検証していく。(副町長) 補助制度の開始から5年経っており、当初の目的から少しずつできてきていると考えている。それがまさに防犯カメラの販売業者の営業活動で、申請件数を見ると、菊陽町だけがやたらに多い状況がある。防犯協会の会長は吉本町長であることから、本日的一般質問のやり取りを確認したうえで、この制度を今後どう進めるのが妥当なのかを検証していけると考えている。



Q PR大使の選定にあたって、選考基準はあるか

A PR大使の設置目的、委嘱、任期、報酬等を規定している



ばばこうせい
馬場 功世 議員



馬場楠の獅子舞

Q PR大使について、地域から質問されるので、正確に回答するため伺う。

A 令和6年2月現在、菊陽武蔵剣豪太鼓、馬場楠の獅子舞、プロサッカー選手、落語家など、3団体、個人12人に委嘱・令和4年12月に「菊陽町PR大使設置要綱」定め、PR大使の設置目的、委嘱、任期、報酬等を規定している。

・目的として、本町の出身者や本町にゆかりのある個人、団体等にPR大使を委嘱し、農商工業、芸術、科学技術、スポーツ、芸術文会福祉などの様々な分野での活動を通じて、本町の魅力発信や知名度向上をはじめ、地域の活性化等を図ることとしている。

・町広報公式YouTubeチャンネルにおけるPR動画への出演などを依頼している。

・任期は3年間とし、報酬については無報酬としており、個別具体的な活動の依頼をする場合は、有償となっている。

・これからも、このPR大使活動を通じて、菊陽町の魅力発信や知名度向上につなげていきたい。

老朽化した（中央公民館、体育館、社協施設）について

Q 建て替え等具体的な整備計画はあるのか。

A 中央公民館については、「菊陽町役場庁舎等整備検討業務委託」の中で、役場庁舎との複合化について検討することとしており、昨年12月からは、職員によるプロジェクトチームも立ち上げ、検討を進めている。

また、令和6年度には、学識経験者を含む外部委員で構成した役場庁舎等整備検討委員会を立ち上げ、その委員会からの答申を基に、中央公民館の整備の方向性について判断したい。

A 町民体育館については、熊

本地震後の災害復旧工事と併せて、屋根の改修工事やトイレの改修工事を行っており、現在も菊陽中学校の部活動やスポーツクラブきくようななどの社会体育で、多くの方が利用されていることから、当面は利用を継続する方向で考えている。

A 町社会福祉協議会が管理運営を行う2つの施設について、老人福祉センターについては、建物の長寿命化及び福祉避難所としての機能の確保を目的として、令和6年度に内部改修工事を実施する予定である。また、福祉支援センターについては、「菊陽町公共施設等総合管理計画」に基づき、施設の利用状況や老朽化状況を踏まえ、今後適切に維持管理を行っていく。

図書館ホールについて

Q 建て替えの計画がなければ企業へ依頼できないか。

A 図書館については、開館から20年となり、主に機械設備関係の老朽化に対応するため、菊陽町公共施設等総合管理計画において令和9年度以降に大規模改修の予定である。

令和6年度に、空調設備、ホールの照明設備、舞台劣化状況調査を行い、今後の改修計画に役立ていく予定である。図書館の建て替えの計画がなく、また、東京などの大都市では、民間によるホールの設置が事例としてあるが、菊陽町において同じように事例を当てはめることは、困難ではないかと考えている。

町長の政策提言について

Q 「町の均衡ある発展の推進」について、南小学校区発展の具体策はあるのか。

A 2月に南校区区長会、南校区活性化協議会、菊陽南小学校PTAの各代表者から、新たな東西道路整備を求める署名を町に提出いただいた。

令和6年度に策定する第7期総合計画の下、道路整備に関する協議を加速させ、マスタープランの改定に併せて行う土地利用制度の検討や、農振法に基づく地域計画の検討など、様々な法律の観点から庁内横断的に進めることで、南小学校区の課題の解消、均衡ある発展に取り組んで参る。

Q TSMC第1、第2工場の地下水の取水量は

A 立地場所は未確定で、地下水の取水量も未確定



こばやし
小林くみ子 議員

Q 第1、第2工場あわせの一日当たりの地下水の取水量はどの位になるのか。

A 第2工場は未確定だが、菊陽町にできても地下水保全条例に従って、100%涵養量が確保されるので、地下水減少にはつながらない。

※第2工場の採取量が未定であれば、地下水の枯渇の心配はないとはいえない。立地場所を含めた情報の開示が必要である。

半導体工場周辺の環境調査

Q TSMC稼働前に既設の半導体工場周辺の環境調査が必要ではないか。

A 関係法令に基づき常時監視されている。昨年農業用井戸1か所の水質検査を実施したが、国の基準より低い。令和6年度も有機フッ素化合物の水質調査を予定している。

Q 有機フッ素化合物などの問題の化学物質については、代替物質も開発途上である。各地で国の基準を超える有害物質が検出されている。また、国の基準は欧州や米国に比べて緩い基準だ。この基準値では安心できない。また、廃棄量については、工場

から町への届出義務がない。町はチェックして情報を公開すべきである。

A (町長) 工場の視察をしたが、TSMC(JASM)は実績のある企業で厳しい基準で対応している。万全の体制で十分対応可能だ。ぜひ町民のみならずも視察してほしい。

※そうであれば水質保全協定を結ぶのではないか。今の段階で問題がなくても、のちのちまで安心とは言えない。町民の不安を取り除くのが町長の大事な仕事である。工場に情報開示を求めて厳しいチェックを行い、安心できる体制を作ってほしい。



第2工場が着工されれば交通渋滞はさらに深刻になる

Q 今後どの程度の交通量が予測されるのか。

A 第2工場の従業員数は1,700人で、その通勤車両の対応は、国・県などの協議で考えていく。TSMCの進出で重点支援策が明確になったため、地域の渋滞解消が大きく進む状況に変化したと考えている。

※TSMCの進出で重点支援策が得られてよかったのではなく、TSMCの進出で渋滞が深刻化している実態に向きあってほしい。



避難所運営にも女性職員の配置ができないか

Q 能登半島地震が発生し、多様な視点から災害対応の見直し求められる。防災・危機管理に女性職員の配置と避難所運営にも女性の配置が必要ではないか。

A 避難所運営にも女性の配置が重要と考えている。多様な視点や経験を取り入れて、備蓄などにも備えていきたい。

※女性の困難によりそい、性被害などがおきないような対策を講じてほしい。ジェンダーの視点を持って取り組んでほしい。



Q 台湾有事を念頭に、避難住民の受入の検討を

A 政府から避難者受入依頼があった場合、受入協力を行う考えだ



ふた さとる
布田 悟 議員



Q 政府は、九州各県に対し、台湾有事の際、沖縄の離島から避難する避難住民の受入れ体制の整備に協力を求め、国外の脅威から住民を守る「国民保護体制の強化」を急ぐ考えを示した。率先して避難住民の受け入れなどを検討すべきであると思うが如何か。

A 2024年度中の策定を目指す、先島諸島住民を九州・山口の8県に避難させる計画のモデルとして八代市での受け入れ計画が3月完成の方針のようだ。

有事の際、政府からの避難民受け入れ要請があった場合、本町でも協力していく。

「都市型」スポーツ施設の整備について

Q スケートボードやスポーツクライミングなどの、いわゆるアーバンスポーツ専用施設が、約26億円の事業費で整備される計画だが、この理由と財源は。

A アーバンスポーツ施設の他、町民グラウンドや緑地広場も予定している。これは、半導体企業の立地等に伴い、新たな観光・賑わいの拠点として、町民・町外を含め皆が集える公園の整備を目的とする。財源は、全事業費約26億円の内、約4割に国の社会資本総合整備交付金を充当し、町負担分については、補正予算債を借りる。

Q 新たな施設整備により、更なる交通渋滞や交通安全問題が懸念されるが、それでもこの地域にこだわる理由は何か。

A 一つ目は、今後の開発との関連性である。
当該公園の周辺には、JR新駅が令和9年春を目標に設

置され、大規模な市街地整備を進める予定であり、その周辺エリアで公園拡張を図りたい。

二つ目は、既存施設との一体的な管理運営である。この施設一帯を「菊陽町総合運動公園」として整備していく。

三つ目は、国の交付金活用である。今回の公園拡張整備における交付金は、半導体企業の立地等と直接関係する区域内の基盤整備である事が条件である。尚、指摘の交通渋滞や交通安全の問題には国県と連携し、しっかりと対応する。



Q 以前から要望されている日本の歴史と伝統を踏まえた武道（弓道場など。）による青少年育成のための、また住民が生涯スポーツを楽しめる施設の整備が優先されるべきと思うが如何か。

A 今回のスポーツ施設整備は、武道や生涯スポーツを楽しむ施設とは性質が異なり、弓道場も設置することはできない。

Q 町の地域振興に偏りを感じる。マスタープランで産業ゾーンとなっている菊陽南小区域が最適と考えるが如何か。

A 今回の整備は、杉並木公園を拡張するものである。白水台地域については、令和6年度に新たに策定する第7期菊陽町総合計画や都市計画マスタープラン等の中で、しっかりと整理検討していく。

Q オーガニック給食を提案

A 農政部局と連携し、課題の整理やニーズ調査など検討を行っていく



いわした かす たか
岩下 和高 議員



Q 現在、学校給食は全国的に無償化の動きに向かっている。本町では一部助成となっているが、ここで一旦立ち止まり菊陽町の将来を担う子供たちの健康、食育の観点からオーガニック給食を提案するが、町はどのように考えているのか。

A オーガニック食材を取り入れるメリットは、食の安全性や環境保全、地域の活性化などが挙げられる。デメリツトとしては、食材の値段が高く、収穫量が少ないことが挙げられる。

学校給食の食材調達に当たっては、給食に必要な量の安定供給と、食材の費用が給食費で賄えるかなど、検討すべき課題がある。

オーガニック給食の導入に当たっては、生産者の確保必要不可欠であり、まずは農政部局と連携しながら、課題の整理、ニーズ調査などの検討を行っていく。



介護人材確保の取り組みについて

Q これから直面する超高齢化社会による介護需要の増加で介護人材の確保が必要不可欠だが、どのように対策するのか。



A 介護人材確保が重要課題になることは、認識している。介護人材実態調査の結果では、介護職員数が減少しており、介護人材の確保の厳しい現実が明らかになった。

本町ではこれまで、町独自の事業は行っていないが、現状を踏まえ、第9期介護保険事業計画において、多様な介護人材の確保・育成のための取り組みを位置付けし、介護事業所の関係者で構成する協議の場場を設置し、情報共有、意見交換を行い、令和7年度からの事業化を目標に準備を進めていく。

町内の介護事業所で働く介護職員等に町独自の補助を

Q 介護職員の処遇改善は人材の確保・介護サービスの向上につながるが町民が安心して利用できるよう、支援体制の構築が急務だがどのように考えているのか。

A 介護職員の給与等に対し、町独自で補助を行うことは、介護人材の確保には有効な手段であることは認識している。しかし、町内の他の業種との公平性や近隣市町で介護人材を確保することへの配慮などあり、慎重に判断すべきであることから他の自治体での先行事例を参考に研究する。

処遇改善



住居表示について

Q 現在、住居表示は西小校区の一部まで進んでいるが今後町はどのように考えているのか。

A 住居表示を行うには、地域住民の多くの理解を得ることが必要である。

今後、自治会からの要望または口頭による相談等があれば自治体への説明、チラシの配布を行うとともに住居表示のメリットやデメリットを周知を図りたいと考えている。



Q 企業立地に伴う新年度予算はどうなるのか

A 町税収入が前年度と比べ、約5億2千万円増加する



う え だ し げ ま さ
上田 茂政 議員



Q 企業立地に伴う新年度予算への影響について、どう考えているのか。JASの開所も終え、第2工場も建設が決まり菊陽町にいい影響をもたらすと思うがどうか。

A 町税収入が前年度と比べて約5億2千万円増加しており、企業立地による影響が大きいと考えている。町税収入の増加に伴い普通交付税を減額しているが、令和6年度については、試算の結果不交付団体にはならなかった。企業立地に伴う歳出として、交通渋滞対策、人口増に対応するための小中学校や保育所整備、その他地下水涵養などを行っていく。

Q 令和6年度予算の重点分野は、どう考えているのか。

A 重点分野としては、公約に掲げる施策の実現に向け取り組んでいく。令和7年度の給食費無償化に向け、6年度は児童・生徒一人当たりの補助を月額1,000円から2,000円に倍増している。

二つ目は、農商工業者への支援として、地産地消の取り組み、農産物のPR事業に取り組んでいく。

スポーツ施設について問う

Q 1月7日の熊日朝刊で報道された「アーバンスポーツ施設」については、議会への説明が不十分だったのではないかと、もともと説明を果たすべきではないか。仮に6haの農地を開発するのであれば、熊本県全体が楽しめる「菊陽アリーナ」を作った方がいいのではないかと、今回の公園拡張整備については、議会、議員には国の交付金活用や予算審議などにおいて説明をしてきた。さらに町民にも丁寧な情報共有・発信をおこなっていく。



今回の整備にあたっては社会資本整備総合交付金のうち「都市再生整備計画事業」を活用する。なお、道路整備に関しては、同じく国の経済対策予算で、社会資本整備総合交付金とは別枠で新たに「地域産業構造転換インフラ整備推進交付金」が創設され、国や県とも連携しながら取り組みが加速的に進んでいるところである。

Q 利用者の予想はどの位か

A 日常的な利用に加え、イベントや大会誘致での来客を含め、年間約14万人を見込んでいる。



JR光の森駅前歩道橋、新駅設置について町長の所見は

Q 歩道橋について、町長は依然反対されていたが、今回推進されるのはなぜか。

A この歩道橋の整備により、目的であった道路利用者の安全性の確保に加え交通渋滞の緩和が図られるだけでなく、「JR光の森駅」を利用される皆様の利便性も高まるものと考えている。新駅設置については、TSMCの進出を踏まえ、地域公共交通の拡充や交通渋滞緩和のための職住近接の面から効果的な施策であると考えている。



Q アーバンスポーツ施設を整備する背景は

A 国の交付金を活用し、スポーツツーリズムを推進していく



おに つか
鬼塚

よう
洋 議員



Q 町民グラウンド及びアーバンスポーツ施設（以下「本施設」）整備計画の概要は。

A 国の経済対策により、半導体産業区域内における基盤整備のための交付金が活用できるようになったため、今回、原水地区の公園拡張エリアを含めた一体を「産業促進区域」と定めたものである。

Q 今回「アーバンスポーツ（※1）」に注力する背景は。

A アーバンスポーツはオリンピックの正式競技になり、県も同スポーツによるスポーツツーリズム（※2）の推進を関係戦略に位置づけているところ、競技施設がないという課題があり、今回の国の交付金をきっかけに町で施設を整備し、県と連携して、スポーツの推進を図っていく。

Q 今後、本施設と既存施設を合わせ、将来的に「菊陽町総合運動公園」として管理・運営していくようだが、これらの施設の一体性をどのようにして図っていくのか。

A 既存施設は現在、町の直営にて運営管理しているが、各施設の普及促進やイベント・大会誘致などの点で、行政のみのノウハウでは限界がある。指定管理者制度（※3）やPFI制度（※4）により、民間のノウハウを積極的に活用することとで、各施設の利活用が最大限図られると考えている。

Q 本施設の整備にあたり、町民（特に若い世代）の声をどのような形で吸い上げていくのか。

A 本施設のあり方については、町内外を含め様々な意見をいた

だいており、町民や競技者が満足でき、みんなが賑わえる施設にしていきたい。パブリックコメントや地元の学校等の声を聞く機会を設けることも検討する。

Q 本施設の整備により、周辺道路の渋滞が予想されるが、どのような対策を講じていくのか。

A 町内の交通渋滞対策は最重要課題であり、国・県とも連携して急ピッチで道路を整備し、セミコン通勤バスの運行など、ソフト対策も進めている。また、令和9年春を目標に、杉並木公園付近にJR新駅を設置し、本施設の利用にあたっては、できるだけ公共交通の利用を促していきたいと考えている。

スポーツツーリズムで町に活気を！



その他の質問

- ・選挙の投票率向上につながる啓発活動のあり方
- ・外国籍の方が自治会に加入してもらうための取組み

委員会報告



- 総務住民生活常任委員会
- 経済産業建設常任委員会

- 文教厚生常任委員会
- 広聴特別委員会

総務住民生活常任委員会

委員長…廣瀬英二

三里木町民センター

大規模修繕工事として、外壁、屋根、エレベーターなどの工事が行われる。

人権教育・啓発課

人権子ども集会は、コロナ禍により、リモート開催などの形になっていたが、今年度から、集合開催の予定であり、90万4千円を計上している。

財政課

新駅設置、スポーツ施設、庁舎の建て替えなど中長期的な財政見通しを立てながら進めている。TSMC進出に伴い、国の補助金も見込めるなど、財政的に有利な状況にあるので、この機会を逃さず事業を進めていく。

総務課

現在の職員数は正職員263名、会計年度任用職員306名となっている。正職員の定数は300名であるが、令和6年度までに増やすというものではない。今後、窓口業務の外部委託やDXの推進などにより、業務の効率化を図りながら、人員配置を見直しつつ計画的な職員採用を行っていく。

総合政策課

移住支援事業の概要について、東京23区に5年以上上居住し、熊本県内の企業へ就職した後、菊陽町南小学校区への転入者に限定し、一世帯あたり、100万円の補助を行うものである。その世帯に18歳未満の子どもがいる場合

は、子ども一人あたり100万円が加算される。

新駅については駅舎の規模や管理手法も含めて、町で検討し、決定していく。

税務課

菊陽町の固定資産税は、3年に一度評価替えとして見直しを行っている。

令和6年度が次の評価替えの対象年度となるため、上昇する見込みである。

環境生活課

ごみ出し要領の外国版看板については、5か国語に対応した看板の制作費用を令和6年度予算に計上している。



文教厚生常任委員会

委員長…大久保輝

図書館

台湾の方が多く転入され、図書館にも来館するようになったため、今年度から英語と台湾語の本を購入するようになった。外国語の資料は、日本語のものより3〜4倍の価格となるため、増額を計上した。

学務課

学校教育アドバイザーの具体的な業務内容は、部活動移行を含めた体力向上や学校経営などのアドバイス業務と、若い先生方の学力向上や授業力向上を目的とした教育支援アドバイス業務。

スポーツ振興課

歳入について、アリーナは月150,000円、会議室は月34,000円、トレーニング室は月に500,000円として算定している。

施設整備課

菊陽杉並木公園拡張整備事業のシエルトー整備工事監理業務委託料は、テナスコートの区域に設置する屋根のついた日よけの施設。防災避難拠点でもあるため、災害時には横幕をつけ臨時的に更衣室などでも利用できる仕様のものを整備する。

生涯学習課

文化財保護費の印刷製本費に歴史探訪マップ3,000部、馬場楠井手の鼻ぐりパンフ5,000部は、以前からあり在庫不足のため増刷するもの。

福祉課

重度心身障害者医療費助成の件数は、令和6年2月末現在で対象者は617名。申請件数は、5,500件。

子育て支援課

児童福祉費補助金について、令和5年度と比較して大幅に減額となった理由は、新型コロナウイルスの対策の補助事業が無くなったことが大きな要因。

介護保険課

敬老会開催補助金の、地区に対する

補助金額の算出方法は、地区割と人数割で計算を行っている。

健康・保険課

追加的風しん対策抗体検査の対象者数が減っている要因は、対象者が減ったこともあるが、受検者が減っている。

現地視察

校舎増築工事の計画がある、菊陽北小学校・菊陽中学校を現地視察した。



農業委員会

他の自治体にはない遊休農地解消緊急対策事を整備。5年間の農地の貸し借りを設定し、遊休農地を解消して作物の作付けを行った農地の借り手に対して、遊休農地を解消するのに必要な費用や、すぐには営農できない事を考慮したもの。

農政課

有害鳥獣対策事業補助金が大幅に増えているが電気柵の設置をさらに進めるためと説明を受けた。また新町井手と柳南校区団地の北側の改修のために測量設計業務委託料を予算化した。



下水道課

現在の使用料の内訳は一般世帯が45%・事業所が55%ほどだが、今後は事業所の割合が増えていく。特定事業場排水の水質検査の回数は年4回業者に委託して採水検査する。またマンホールトイレの設置については、地域防災計画に基づき、避難場所に設置す

る。子供用は業者に確認したがないので、子供用の補助便座で代用できるか確認をする。



都市計画課

定住促進事業の補助金は昨年の実績と同様の19件を予定している。小学生の子供の数によって補助金額が変わってくる。また原水駅周辺の区画整理事業は資料作成準備業務を行う。それに合わせて職員の土地区画整理セミナーの受講をする。

建設課

道路パトロールは2人一組で道路の点検を行い、確認された道路の補修費を40万20ヶ所を計上している。また熊本市の樹木の倒木を踏まえ街路樹健全度調査委託料を一千万円計上し、倒木の危険性のある樹木の管理を行う。杉並木公園線の街路灯整備工事は、夜間の公園の夜間の安全を対策を図るために設置をする。また、なかよし公園南側の町道中岡線と、鉄砲小路踏切用地測量と大原踏切改良測量の設計業務委託料を計上。

広聴特別委員会

委員長…坂本秀則

令和5年度の活動報告及び

令和6年度の活動計画案について

*令和5年度は、区長会理事と同程度人数の正副議長・議会運営委員長・常任

委員会正副委員長で、令和5年10月10日及び令和6年2月20日にて意見交換会を2回開催。

*令和6年度は、区長会や各種団体等と調整し議長・各議員と協議して、

町民の意見・要望を幅広く町政へ反映させられるように、2回以上は、広聴会及び意見交換会を開催したいと

かんがえている。



「10月10日区長会との意見交換会」

商工振興課

夏祭りの予算が、前年に比べて300万ほど増加しているが、昨年の混雑状況を踏まえて、今年の来場者はさらに増えることが予想される。警備員の増員や、後ろの観客にも舞台が見えるように、大型モニターを設置すると説明を受けた。

経済産業建設常任委員会

委員長…矢野厚子

議会の活動状況

●議長の公務記録

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
1月 4日	議会仕事始め 議会運営委員会 会議	議会 議会運営委員会	委員会室 正副議長室
1月 7日	20歳の成人式	教育委員会	図書館ホール
1月 9日	JA菊池 年始挨拶来庁 対応 公文書押印		正副議長室 正副議長室
1月10日	公文書押印 臨時会議案（執行部より提出議案説明・全協開催の要請）		正副議長室 正副議長室
1月11日	自由民主党熊本県支部連合会 新春のつどい 公文書押印	自由民主党熊本県支部連合会	ホテル日航熊本 正副議長室
1月12日	公明党熊本本部2024年賀詞交歓会	公明党熊本本部	ホテル日航熊本
1月14日	菊陽町消防出初式	菊陽町・菊陽町消防団	光の森防災広場
1月15日	公文書押印		正副議長室
1月16日	公文書押印 菊陽町造園協会 賀詞交歓会		正副議長室 火の国
1月17日・ 22日	公文書押印		正副議長室
1月23日	公文書押印 肥後大津ロータリークラブ新年会	肥後大津ロータリークラブ	正副議長室 エアポートホテル
1月25日	公文書押印 広域連合事務局来庁 特別委員会設置について（議員定数の件）		正副議長室 正副議長室
	城北地区商工会連絡協議会新年会	城北地区商工会連絡協議会	エアポートホテル
1月26日	全員協議会（午前の部・午後の部） 臨時会 阿蘇くまもと空港周辺4ヶ町村 議会議員研修会	議会 菊陽町 阿蘇くまもと空港周辺 4ヶ町村議長会	委員会室 議場 エアポートホテル
1月27日	菊陽町青少年健全育成会町民会議「全体会議」	菊陽町青少年健全育成会町民会議	菊陽町図書館ホール
1月28日	熊本第三区知事選挙対策本部発足式	熊本第三区自民党	大津町民交流施設オックスプラザ
1月29日	菊陽町食品衛生協会新年会（来賓挨拶）	菊陽町食品衛生協会	せんだい
1月30日	光の森駅前横断歩道橋 開通式 県へ要望活動（亀崎土木部長、奥山道路整備課長）	菊陽町 菊陽町（町長、議長、井芹）	光の森駅前 県庁土木部
1月31日	公文書押印 都市計画審議会日程調整		正副議長室 正副議長室
2月 2日・ 6日	公文書押印		正副議長室
2月 8日	菊池広域連合 第一回定例会	菊池広域連合	菊池広域連合事務局
2月 9日	公文書押印 「チーム熊本」を語る会		正副議長室
2月11日	東部町民センター講座発表会	自由民主党熊本支部連合会 菊陽町	市民会館シアーズ夢ホール 東部町民センター
2月13日	公文書押印		正副議長室
2月14日 2月15日	菊陽町議会運営委員会 研修	菊陽町議会運営委員会	福岡県
2月16日	公文書押印		正副議長室
2月17日	菊陽町公民館大会 立野ダム完成式	菊陽町教育委員会 菊陽町地域公民館連絡協議会 国土交通省	菊陽町公民館 立野ダムサイト
2月18日	人権フェスタ	菊陽町	菊陽町図書館ホール
2月19日	菊陽町都市計画審議会 公文書押印	菊陽町	防災センター2階 正副議長室
2月20日	議会運営委員会 会議 区長会と議会の意見交換会	議会運営委員会 議会	委員会室 防災センター
2月22日	熊本県町村議会議長会 第74回定期総会・懇談会	熊本県町村議会議長会	ホテル熊本テルサ
2月24日	JASM開所式	JASM	JASM新工場
2月26日	菊陽町商工振興協同組合・菊陽町飲食業同業組合 合同新年会（挨拶）	商工振興協同組合・飲食業同業組合	いけす居酒屋屋田舎門
2月27日	公文書押印		正副議長室
2月28日	令和6年第1回定例会 全員協議会 公文書押印	菊陽町議会 菊陽町議会	議場 委員会室 正副議長室
2月29日	公文書押印 宝山郷表敬訪問時の友好夕食会		正副議長室 プランヴェールアベニュー熊本
3月 1日	令和6年第1回定例会		
3月 4日・ 5日	令和6年第1回定例会 一般質問 公文書押印	菊陽町	議場 正副議長室
3月 6日	第1回定例会 一般質問 くまもと経済レセプション 公文書押印	菊陽町 くまもと経済	議場 ANAクラウンプラザホテルニュースカイ 正副議長室
3月 7日	桜消防署 落成式 公文書押印	菊池広域連合	桜消防署 正副議長室

議会の活動状況

●議長の公務記録

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
3月 8日	武蔵ヶ丘中学校 卒業式	武蔵ヶ丘中学校	武蔵ヶ丘中学校
	副町長、担当課と町事業について協議	議長	正副議長室
3月11日	全員協議会	菊陽町	委員会室
	公文書押印		正副議長室
3月12日	菊池地域議長会議	菊池地域議長会	広域連合委員会室
	議会運営委員会 会議	議会運営委員会	委員会室
	公文書押印		正副議長室
3月13日	公文書押印		正副議長室
3月14日	第一回定例会提出案件 検証		正副議長室
3月15日	第一回定例会	菊陽町	議場
	議員懇談会	菊陽町議会	中村屋
3月18日	公文書押印		正副議長室
3月21日	西小学校 卒業式		
3月22日	台湾企業来庁対応		委員会室
	公文書押印		正副議長室
	議会運営委員会 議会事務局体制について	議会運営委員会	正副議長室
3月25日	公文書押印		正副議長室
	議会運営委員会正副委員長と会議 (議会運営委員会の議案協議)	議長	正副議長室
	菊池広域連合定例会	菊池広域連合	菊池広域連合本部
3月26日	総合計画策定審議会	菊陽町	防災センター 1F
	公文書押印		正副議長室
3月27日	公文書押印		正副議長室
3月30日	ふれあいの森桜まつり 来賓挨拶	ふれあいの森桜まつり実行委員会	ふれあいの森

●議会運営委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
1月 4日	議会運営委員会	議会運営委員会委員長	委員会室
1月26日	議会運営委員会	議会運営委員会委員長	議長室
2月14日～ 2月15日	議会運営委員会行政視察研修	議会運営委員会	福岡県那珂川市・須恵町
2月20日	議会運営委員会	議会運営委員会委員長	委員会室
3月12日	議会運営委員会	議会運営委員会委員長	委員会室

●総務住民生活常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
1月16日	委員会研修	刈田町役場	福岡県刈田町
1月17日	委員会研修	新宮町役場	福岡県新宮町
2月19日	都市計画審議会	菊陽町	防災センター (2F)
3月11日	常任委員会	常任委員会	会議室 (1F)
3月12日	常任委員会	常任委員会	会議室 (1F)
3月27日	常任委員会研修 (DX推進)	総合政策課	会議室 (1F)

●文教厚生常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
1月24日～ 1月25日	文教厚生常任委員会視察研修	文教厚生常任委員会	豊後高田市・佐伯市
2月19日	都市計画審議会	菊陽町	防災センター (2F)
3月11日	常任委員会	常任委員会	
3月12日	常任委員会	常任委員会	
3月28日	社会福祉協議会 評議員会	社会福祉協議会	社会福祉協議会

●経済産業建設常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
1月30日	光の森歩道橋落成式 (委員長として)	菊陽町	光の森歩道橋
2月19日	都市計画審議会	菊陽町	防災センター
3月11日	常任委員会	常任委員会	委員会室
3月12日	常任委員会	常任委員会	委員会室
3月26日	総合計画審議会	菊陽町	防災センター

●広報委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
1月15日	広報委員会 (12月議会だより1校作成)	広報調査特別委員会	委員会室
1月29日	広報委員会 (12月議会だより2校作成)	広報調査特別委員会	委員会室
2月 2日	広報委員会 (12月議会だより3校作成)	広報調査特別委員会	委員会室
2月13日	広報委員会 (12月議会だより4校作成)	広報調査特別委員会	委員会室
3月15日	広報委員会 (3月議会だより担当決め作成)	広報調査特別委員会	委員会室



菊陽町体育協会

会長 豊住 充彦

菊陽町体育協会は、菊陽町民並びに町内勤務者の体力増進を図り、スポーツ愛好の精神と技術の向上及び善良な社会人の育成を目的として、23の種目協会の集合体として組織され設立されています。

主な活動としては、毎年11月開催の菊陽町にんじんの里マラソン大会（コロナのため令和元年～中止）、3月開催の菊陽町ふれあい駅伝大会を主催行事のほか、県民体育祭の予選となる菊池郡市民体育祭に各種目協会の代表選手を派遣しています。



今年3月に開催しました「第34回菊陽町ふれあい駅伝大会」には、菊陽町議会チームをはじめ、一般の部12チーム、中学生の部3チームの参加がありました。箱根駅伝出場経験のある選手も数名走られ、大変盛り上がりしました。

菊陽町はこれから人口も増え、益々活気が出てくることだと思います。新型コロナもインフルエンザと同様の感染症となり、以前のようにスポーツを楽しむことができるようになってきました。今後、子どもから高齢者まで誰もが生涯にわたってスポーツを安全に楽しめる環境づくりを行いたいと思います。



編集後記

廣瀬 英二

今年4月に、今後4年間のかじ取りを担う熊本県の新リーダーに木村敬さんが決まりました。

菊陽町に進出したTSMCを巡っては、半導体関連企業の集積などで、熊本県に及ぼす経済効果は10年間で約7兆円と試算され、菊陽町においても多額の税収増が見込まれています。

その半面、道路渋滞、地下水、農地保全、多文化共生などを心配する声もたくさんあり、議会では、これまで多くの議員が一般質問を含め、町の取り組みを正してきました。町民の皆さまの不安を最小限にするため、私たち議員は諸課題解決に向けて取り組んでいます。

町民の皆さまが、安心・安全でTSMC進出の効果を肌で実感できるように私たち議員は頑張っていく覚悟です。

議会だよりに対するご意見、ご要望がありましたら広報委員会までお寄せ下さい。

みなさんの 傍聴を お待ちしています。

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会の広報委員が写真撮影に伺うことがありますが、ご理解とご協力をお願い致します。

発行責任者

議長 福島 知雄
副議長 西本 友春
委員 藤本 昭文
委員 廣瀬 英二
委員 馬場 功世
委員 吉村 恭輔
委員 鬼塚 洋

編集者

この議会だよりは再生紙を使っています。